

和田邦坊 （総） 漫画家。明治二十三年香川県高松生れ、平成四年歿
 （一九〇〇—一九二）。本名邦夫。別名和田ケン坊。高松中學校中退、上京し
 て岡田三郎助の本郷繪畫研究所に學ぶ。その後プラトン社に入社して
 漫畫を描き始め、『東京日日新聞』記者に轉じて政治漫畫を描き、そ
 の漫文と共に人氣を博した。昭和十二年歸郷。戦後香川県商工獎勵館
 館長となり、縣特産品、土産物等の工藝デザインを指導し、二十九年
 には香川県文化功勞者に選ばれた。

著書 『漫 明治大正史』（合著、昭和二年八月五日中央美術社「現代漫
 畫大觀」）、『漫畫講座・第一卷』（合著・日本漫畫會編、昭和八年
 十一月十日建設社）、『世渡り問答』（昭和十一年二月十一日大日本
 雄辯會講談社）、『邦坊漫文』（昭和十一年二月二十日新陽社）、『金
 毘羅船々』（昭和二十五年二月二十五日新陽社）、『俺が女房のや髭
 があゝ』（昭和三十一年五月二十日妙義出版株式会社「スマイル・ブ
 ックス」）等。

